

令和3年度事業実績書

団体名	嘉川自治連合会
-----	---------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

嘉川の魅力を活かした元気で楽しく住みたいまちづくり

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	地域みんなで子育てができるよう、子育て支援団体の活動を支援します。	
	事業名	すこやか子ども未来	決算額 190,395
②	視点	地域防災力の充実・強化と防災意識の高揚を図り、みんなが安心して暮らせる地域を造ります。	
	事業名	みんなで安心防災	決算額 599,766
③	視点	住民が楽しく交流できるふれあいイベントで地域の活性化を図ります。	
	事業名	ふれあい交流	決算額 94,729

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①地域の独自の活動として運営している子育て支援組織「みらい」、嘉川子ども館「しゅっぽっぼ」の活動に対して継続して支援をすることで子育て支援の充実を図りました。また、ふるさと学習では学校や家庭ではできないことを体験することができました。参加者が多数あり、学びたい・教わりたいという意欲があることに気づかされ、今後も子供たちが興味を示す学習や講座を企画し、参加者を増やしていきたい。	◎
②自主防災本部と災害ボランティアかわによる避難所運営に関する合同訓練は実施体験として成果がありましたが、各分野、各活動を習熟したリーダーの育成が必要と感じました。また、小中学生を対象とした防災学習を開催し、避難内での自分たちができることを考え実践する体験学習を実施し小中学生の防災への関心や重要性を意識づけができることができました。	◎
③毎年秋の恒例行事だった各イベントがコロナ禍により中止としたが、コロナ禍でも実施できるイベントについてはコロナ対策を十分に取ながら工夫して企画したことで、大変、好評で参加者にも喜ばれた結果となりました。今後も、コロナ禍でもできるイベントについて検討をしていきたい。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

自主防災本部と災害ボランティア嘉川の避難所運営に関する合同訓練(実務体験)を実施に伴い今後の地域防災力の充実・強化が期待されます。また、小中学生の防災学習を実施し子どもたちに防災意識の向上に寄与できたと考えています。ふるさと学習では多数の参加があり、今後も継続して行っていきたいと思ひます。他に、今年も改めて子育て支援組織「しゅっぽっぼ」の活動を継続することの大切さを確認することができました。コロナ禍でイベントが中止する中、コロナ禍でも実施できるイベントを工夫して企画したことで、嘉川地域の魅力を地域へ発信するできました。
--

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	4,772,050	事務局
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数)	事務局長1人、事務局員2人
	(運営費の主な内容)	事務局人件費、事務費
	(成果・評価)	年間を通じて滞りなく事務局運営を行いました。
	(今後に向けて)	スムーズに事務局運営を行うため体制を強化していきます。

(2) 地域振興

事業名	ふれあい交流	まちづくり部会
事業費	94,729	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 ふれあい交流イベント(コスモスウォーク、三世代交流ウォーク、謎解きアドベンチャー2021等) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、コスモスウォーク、三世代交流ウォークは中止しました。</p> <p>(1) 嘉川のいいとこみつけちゃろ写真コンテスト! 募集期間:5月～10月、結果発表:11月3日(嘉川文化祭)に表彰式を開催 応募者:38人</p> <p>(2) 謎解きアドベンチャー2021inかがわ 実施期間:11月～12月、報告日:12月12日(日)、報告者:89人</p> <p>2 祭り・イベントで子どもみこし 子どもたちが生き生きと活躍できる場として地域行事にみこしを担いで各イベントに参加する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため各イベントが中止となりました。(各イベント:体育祭、嘉川八幡宮秋季大祭、文化祭(縮小開催)) 代替事業として、過去の各イベントに参加した子どもみこしのアルバムを作成しました。</p> <p>3 地域・歴史文化のふるさと探訪 「ふるさと嘉川の遺跡・史跡」を利用した「ふるさと探訪ウォーク」を元氣会が実施されました。 実施日:4月6日(火)、23日(金)、6月22日(火)、6月29日(火)、10月4日(月) 参加者:延べ172人</p> <p>4 みんなであいさつ、つながる地域 「川西地区あいさつ・こだまプロジェクト」や地域内団体と連携して活動の推進に取り組む予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、あいさつ運動立哨活動は中止となりました。 「あいさつ運動」推進のため、今年度、新たに嘉川駅、上嘉川駅、深溝駅にのぼり旗(2旗づつ)を設置しました。</p> <p>(成果、評価) 毎年秋の恒例行事だったコスモスウォーク、三世代交流ウォークは今年もコロナ禍により中止となったが、コロナ禍でも実施されたイベントについてはコロナ対策を十分に取りながら工夫した企画としたことで、大変、好評で参加者にも喜ばれました。 住民の目に付きやすい駅前へのぼり旗を設置し「あいさつ運動」推進の向上につながりました。</p> <p>(今後に向けて) 地域住民が楽しく交流できるふれあいイベントを実施し、地域の活性化を図っていきたい。 また、コロナ禍でもできるイベントについて十分に検討をしていきたい。 今後も地域住民の目に付きやすい場所に「あいさつ運動」ののぼり旗を設置していきたい。</p>	

事業名	嘉川の情報発信	まちづくり部会 広報委員会
事業費	677,987	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 地域情報をみんなで共有する広報誌の発行 地域の知ってほしいことや各自治会の情報などを掲載し、9月と3月に広報誌を発行しました。 広報委員会:4月～8月編集会議(9月発行)、12月～3月編集会議(3月発行) 発行部数:9月 2,700部 3月 2,700部 全戸配布</p> <p>2 暮らしに役立つホームページ みんなが知りたい情報をタイムリーに提供しすることができました。また、内容を充実しました。 ホームページ記事:毎月1回更新、速報情報は随時更新</p> <p>3 住みたい嘉川の魅力を地域外へ発信 嘉川の魅力を地域内外へ発信するため嘉川地域ビデオ映像記録制作を立ち上げ、年間のイベント行事や地域のさまざまな特色ある風景などをビデオ撮影を行いました。実施時期:通年</p> <p>(成果、評価) 広報誌やホームページに嘉川自治連合会の活動状況など地域住民に知らせることで、嘉川の魅力や課題を共通理解し、これからの嘉川について考えるきっかけづくりとなりました。また、地域内団体の活動状況などを紹介し、活動内容の理解を深めることができました。</p> <p>(今後に向けて) 地域の様々な行事や活動を効果的に発信し、嘉川の魅力や情報を掲載し、住みたいね。嘉川を牽引していきたい。 嘉川地域ビデオ映像記録制作は、工夫を凝らしを構成の映像作品として作り上げていきたい。</p>	

(3) 地域福祉

事業名	すこやか子ども未来	ひとづくり部会
事業費	190,395	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 嘉川子ども館の子育て活動 子育て支援組織「みらい」の運営の支援をしました。また、嘉川子ども館「しゅっぱぽ」に絵本や遊具購入を支援しました。 「しゅっぱぽ」開館日:毎週火・水・金 第3土曜日、行事 7、12、2、3月 利用者:延べ,000人</p> <p>2 いのちの学習「川西ちびっ子大集合」 第19回川西ちびっこ大集合パンフレット作成を支援しました。</p> <p>3 放課後児童クラブの活動 放課後児童クラブ(2施設)の行事や活動を支援しました。 時期:通年(夏休み・春休み・冬休み含む)、おおぞら学級・仲良し学級:児童90人</p> <p>4 児童生徒の見守り活動 登下校時の児童や生徒の見守り活動を実施しました。 時期:通年(登下校時)、見守り隊(地区):100人</p> <p>5 小学生「ふるさと学習」、「世代間交流」 小学生「ふるさと学習」の支援をしました。「世代間交流」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 開催日(ふるさと学習):7月22日(木)、29日 8月2日(月)、3日(火)、4日(水)、9日(月)、24日(火) 参加者:延べ46人 コロナ対策で定員を各15人とし、交流センターと興進小学校で開催しました。</p> <p>(成果、評価)</p> <p>子育て支援組織や放課後子ども館に対する絵本や遊具の購入のための資金援助を支援し、充実した遊びの場や集いの場を提供するもので、子ども達の健やかな成長を助けるものとなっています。 登下校時の見守り活動では、活動を通じて児童や生徒との繋がりができ、挨拶の交換などで親しい関係が醸成されつつあります。 小学生「ふるさと学習」では、学校や家庭ではできないことを体験することができました。参加希望が多数あり、学びたい・教わりたいという意欲があることに気づかされました。 今年、東京オリンピックがあり、山口市出身の選手を応援するうちわを作り、家庭で応援してもらいました。講座内容:オリンピック応援うちわ作り、絵皿作り、ウグイス笛作り、風力自動車作り、絵手紙作り</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>地域の独自の活動として運営をしている子育て支援組織に対して今後も支援を継続していきたい。 見守り活動を通して児童や生徒との繋がりを深めていきたい。 ふるさと学習や世代間交流の講座内容を更に充実させ、地域ぐるみで子供を見守り育てていきたい。 そのためにも、多くの子どもたちが興味を示す学習や講座を企画し、参加者を増やしたい。</p>	

事業名	みんなで健康長寿	ひとづくり部会
事業費	172,865	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 いきいきサロンの活動 いきいきサロンの充実のため、活動をされた5地区に支援をしました。 地区:いきいきサロン・たかね、赤坂いきいきサロン、免地にこにこ会、いきいきサロン嘉川 高見いきいきサロン(5地区) 参加者:80人 老人クラブ交流会:11月23日(火) 参加者:36名</p> <p>2 老人クラブの活動 老人クラブの活動(スポーツの集い)の支援をしました。 老人クラブ:今津山会(11月18日(木))、高見長寿会(12月25日(土)) 高根福寿会(1月19日(水)) 万年青会、藤生会(4月~1月) 参加者:延べ80人</p> <p>3 高齢者の「交通防犯講習」 8月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>4 健康相談の実施 健康相談を実施された3地区に支援をしました。 地区:免地(1月)、高根(3月)、高見(3月) 参加者:50人</p> <p>(成果、評価) いきいきサロンの活動を通し、地区のつながりと仲間づくりができました。また、各単位老人クラブが企画する健康と友愛活動を目的としたスポーツが促進されました。また、1年ぶりに老人クラブ交流会を開催し、クラブ間の活動の交流は有意義でした。 健康相談では、高齢者の健康管理の必要性に関心が高まりました。 コロナ禍の中、適度な気分転換が高齢者には必要であり、その目的を果たす場となりました。 (今後に向けて) いきいきサロンの活動を充実させるため、今後も支援をしていきたい。 老人クラブの活動を支援して、仲間づくりの場となるようにしていきたい。 健康管理の関心を高めるため、健康相談を各地区に実施してもらうように周知をしていきたい。</p>	

事業名	楽しい健康ライフ	ひとづくり部会
事業費	275,241	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 かがわ元気あっぷチャレンジ 年5回実施し、健康チェックをしながら「体力&免疫力アップ」に取り組みました。 開催日:9月1日(水)、10月5日(水)、11月10日(水)、2月9日(水)、3月3日(水)参加者:延べ115人 10月の相原山登山が雨天のため実施できなかったため、3月3日(木)に東本郷里山散策しました。</p> <p>2 スポーツ活動の用品貸し出し 老人クラブや地域スポーツ行事にスポーツ用具を貸し出し、関係行事の支援をしました。 購入用具:ツフトーツ、シュッフルボード 嘉川グランドゴルフ大会:10月14日(木) 参加者:20人</p> <p>3 健康づくり活動団体への支援 健康づくり活動4団体への支援をしました。実施時期:通年 参加者:延べ7,000人 活動団体:嘉川八幡宮ラジオ体操、さらく会ラジオ体操、嘉川元気会、嘉川グランドゴルフ愛好会</p> <p>(成果、評価) 元気あっぷチャレンジの活動が定着し、参加者が増えました。 軽スポーツの活動でニュースポーツ用具の活用がなされ、点検と補充ができました。 健康づくり活動団体へ支援を行い、健康づくりの輪が広がり、参加者も増えていています。 (今後に向けて) 元気あっぷチャレンジを継続して、健康の増進を図る企画を考えていきたい。 スポーツ活動や日常的な健康づくりができるスポーツ用具を今後も提供できるようにしたい。 高齢者が外に出て健康的に過ごせるように今後も各団体へ支援をしていく。</p>	

事業名	がんばる人づくり	ひとづくり部会
事業費	160,435	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 がんばるボランティア活動の支援 中高生・若者ボランティアサークル“きずな”の活動充実のための支援をしました。 「みおつくしの会」の高齢者慰問・見守り活動のための手作りの製作に支援をしました。 みおつくし活動日:通年 人数:12人 手作り品配布日:12月7日(火) きずな:コロナ禍の中でもできる活動を模索し、文化祭などの地域活動に参加しました。また、年間の活動は終わっていましたが、1月の成人式に合わせ交流センターでの記念写真撮影に協力しました。</p> <p>2 がんばる人の応援(人材バンク) 人材バンク作成まではいかなかったが、地域づくりを担う人材の発掘や後継者育成の一環として、令和4年嘉川地域在住の新成人を対象に集合写真撮影を行いました。 開催日:1月9日(日) 新成人参加者:42名 自治連合会から新成人へ記念品を贈呈</p> <p>3 がんばる組織の応援(諸団体) 地域の諸団体の活動を側面的に応援することを目的に位置付けているものですが、今年度は特に相談を求める声も団体もありませんでした。</p> <p>(成果、評価) 各団体とも、長引くコロナ禍の中で、少しづつではありますが、できる活動を模索する動きが出ているように感じられます。 コロナ後を見据えてできることは何かを考え、手探りでも活動を進めていくことが重要といえます。 今年で2回目となった新成人記念写真は昨年以上の参加があまりました。記念品として「嘉穂の郷」を呈し、嘉川の地酒のPRにもなったと思います。また、“きずな”から4名の協力があり、新成人がかつて“きずな”の一員であったとの話もあり、繋がりを感じさせるもので、若者たちを地域づくりに参加させる一助となれば幸いです。</p> <p>(今後に向けて) 地域のために活躍するボランティア組織に対して引き続き支援をしていきたい。 特に、“きずな”に対しては、若者と地域、地域の活動との結び付きが強くなり、若者の参加は今後の地域活動に無限の力と可能性を発揮するものと思われるので更なる支援をしていきたい。</p>	

(4) 安心・安全

事業名	みんなで安心防災	自主防災本部
事業費	599,766	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 自主防災組織の設置促進、充実強化</p> <p>(1) 自主防災本部連絡調整会議 開催日:11月27日(土) 参加者:42人 各自治会長が参加し、自主防災本部の組織体制や配備体制の説明、災害対応等の各自治会との連絡体制、アンケート調査結果などの調整会議を開催しました。</p> <p>(2) 自主防災組織会議はコロナ禍のため、開催はできなかったがアンケート調査によると自治会の現状・問題点や新たな設置に向けた取り組みなどが確認され、自主防災組織の設置を検討している自治会が15地区もあり設置が期待されます。</p> <p>(3) 防災本部の資材等購入 避難所運営に必要な防災備品を購入しました。</p> <p>(4) 避難状況 (避難場所:嘉川地域交流センター) 8月14日(土):大雨災害 避難者7人、9月17日(金):台風17号 避難者2人</p> <p>2 防災研修・訓練で地域防災力の強化</p> <p>(1) 防災合同訓練 開催日:7月17日(土) 参加者:43人 避難所運営の実務体験するため、自主防災本部と災害ボランティアかがわによる合同訓練を実施しました。</p> <p>(2) 自主防災本部会議 開催日:6月26日(土) 参加者:29人 今年度の活動計画や防災訓練等の取り組みを協議しました。</p> <p>3 防災士・自主防災アドバイザーの養成 自主防災アドバイザー養成講座(10月開催)の募集をしたところ今回は、応募がありませんでした。</p> <p>4 小・中学生を対象に「命を守る防災学習」 嘉川小学校:10月14日(木)、興進小学校:10月7日(木) 参加児童:46人(2校) 4年生を対象に自然災害の怖さをクイズ形式で考え、防災グッズの重要性を学習をしました。 川西中学校:12月13日(月) 参加生徒:131人 1、2年生を対象に避難した場合にそこにあるものを使って搬送したり、避難所内での自分たちができることを考え実践する体験学習を実施しました。</p> <p>(成果、評価) 自主防災本部と災害ボランティアかがわによる避難所運営に関する合同訓練は実務体験として成果があったが、各分野、各活動を習熟したリーダーの育成が必要と感じました。</p> <p>(今後に向けて) もっと大規模な避難体制に向けて、小中学校の避難運営等を検討する。避難所スタッフの確保と育成、災害ボランティアの連携と活用について検討し、運営に必要な資材を計画的に整備していきたい。また、自主防災組織を検討している自治会を支援し、組織設置を推進していく。</p>	

(5) 環境づくり

事業名	美しい環境づくり	環境づくり部会
事業費	747,706	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 まちじゅう花いっぱい活動 各地区や団体にまちじゅう花いっぱい運動の推進の働きかけを行い、夏・冬花壇用の花の苗、肥料等を配布し、各自治会や子ども会、小・中学校3校、おおぞら学級、しゅっぽぼなど育成されました。 夏・秋苗の配布日:5月28日(金)1,640本 参加者:23自治会、11子ども会、7団体 冬・春苗の配布日:11月19日(金)1,050本 参加者:20自治会、7団体</p> <p>2 本郷地区の里山づくり 禪定寺山(392, 2m)の登山コースの点検や頂上展望所の草刈りを実施しました。 実施日:3月26日(土) 参加者:9人 本郷地区の遊休農地を活用し、景観植物(コスモス、菜の花)の植栽を行いました。また、植樹地(ヤマザクラ)の下刈りを実施しました。植栽時期(コスモス、菜の花):5月~9月 参加者:延べ20人 植樹地(ヤマザクラ)下草刈り時期:11月25日(木)、梅木の剪定:12月7日(火) 参加者:延べ10人 本郷里山研究会では、里山づくりに係る活動組織や現状と課題を踏まえた今後の在り方について協議しました。開催日:4月、11月、1月、2月 参加者:延べ20人</p> <p>3 みんなで清掃、美しい地域づくり 地域をあげてゴミのない美しい地域づくりのため、一斉作業日を毎年11月最終日曜日と定め、地域内で特にゴミが多い大原、岡屋インター側道付近、今坂駐車場の3箇所の清掃を実施しました。 開催日:11月28日(日) 参加者:大原インター72人、岡屋インター81人、今坂駐車場29人</p> <p>(1)嘉川駅清掃活動 昨年度、駅舎待合室の掲示板の利用を自治連合会とJRが利用協定を締結し、嘉川駅をみんなの駅と捉え、今年度は駅舎前にプランターを設置し、花を飾り、駅舎周辺の清掃、植木の剪定、除草を実施しました。また、掲示板には嘉川の魅力や地域行事の情報を毎月掲載し、地域内外の方に情報発信を行いました。</p> <p>(成果、評価) まちじゅう花いっぱい活動では、各地域の花壇に花が咲き美しい地域づくりの一環となりました。 里山づくりでは、景観植物(コスモス、菜の花)の植栽は行ったが、新型コロナウイルスの影響でコスモスウォークなどの各イベントが中止となりました。しかし、小規模のウォーキンググループや家族で散策をされていたため、里山を交流の場として活用するグループが定着されてきています。 本郷里山研究会では、里山づくりの実践活動の柱となる組織について今後も協議してしていきます。 嘉川駅前にプランターを設置し季節ごとの花を飾り、通学・通勤者の癒しとなっています。 また、新山口駅長より感謝の意を受けています。駅舎掲示板は地域情報などを掲載し、嘉川の魅力や情報を周知することができました。</p> <p>(今後に向けて) まちじゅう花いっぱい運動に参加されていない自治会、子ども会について参加をしてもらうように、検討していきたい。また、苗を配布する数量を増やしていきたい。 登山道整備は、今後も安全な登山ができるように、登山ルートの維持管理を行いたい。 本郷地区の里山の魅力をタイムリーに発信し利活用を促していきたい。 また、里山づくりの主体となるボランティア組織の立ち上げやプロジェクトの検討を進めていきたい。 清掃活動では今坂駐車場の参加者が少ないため、センターだより等で募集を呼びかけたい。 嘉川駅のプランターを増やし、花に囲まれたみんなの癒しの場の駅としていきたい。</p>	

事業名	優しい交通ネット	安全づくり部会
事業費	27,500	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 便利なコミュニティ交通 嘉川コミタク研究会の活動として令和3年4月に改正した運行ルートやダイヤの実績や問題点に関してコミタク推進協議会との合同会議を行いました。合同会議:2月19日(土)開催</p> <p>2 交通弱者・高齢ドライバーの支援 8月に開催する「嘉川地区交通・防犯講演会」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。</p> <p>3 交通安全施設の整備 各自治会よりカーブミラーの設置要望はありませんでした。</p> <p>(成果、評価) コミタク推進協議会で、4月1日からルートの変更やダイヤの改正を実施したことにより、収支改善が図られました。</p> <p>(今後に向けて) コミタクは主として江崎東4地区が通院や買物等に利用しており、他の地区にも通院や買物等で外出困難な交通弱者がいるので、地域全体での取り組みを検討していきたい。 宅地開発等で、道路事情も変化してきており、今後も見通しが悪い箇所には安全対策として、カーブミラーの設置を各自治会に呼びかけを行いなど今後も周知していきたい。</p>	

事業名	公共インフラ整備	安全づくり部会 建設委員会
事業費	4,456,000	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 市道改良、河川浚渫、下水道等の要望 地元から要望を提出されている未整備の道路について、緊急性を考慮しながら、優先順位を協議し要望を市へ提出しました。提出日:2月25日(金)</p> <p>2 法定外公共物等の整備 地元が行う日常生活道路(法定外道路)や水路(法定外水路)の補修工事等に対して、工事費を補助しました。 時期:6月(1次募集)、9月(2次募集)募集締切後、建設委員会で要望内容を審査し、地元関係者が工事を実施しました。審査会:7月7日(水) 道路4件、水路4件 4,456千円 原材料支給については、水路1件ありました。</p> <p>(成果、評価) 地域の要望に沿って事業実施ができて、十分な成果があったものと考えます。</p> <p>(今後に向けて) 広く地域に利用されるように広報、周知の徹底に努めます。</p>	

(6) 地域個性創出

事業名	嘉川らしいまちづくり	まちづくり部会
事業費	566,190	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 嘉川の酒「嘉穂の郷」米づくり・販売の支援</p> <p>地元の酒米を生産し、地元の蔵元で醸造した地酒「嘉穂の郷」が今年度も良質な新酒にできあがりしました。なお、酒米づくりイベント(田植え、稲刈り)、新酒発表会はコロナ禍のため中止しました。「嘉穂の郷」の販売拡大のため、嘉川八幡宮で厄除けなどの祈願を受けた祈願酒の販売を行いました。また、酒米づくりでの田んぼに設置している「嘉穂の郷」看板が老朽化のため取替をしました。祈願酒販売本数:純米吟醸110本、にごり酒:145本、</p> <p>2 嘉川をおいしく、地産料理</p> <p>嘉川特産品を使用した嘉川らしい料理を創作・開発し、特産品の消費・普及を図りました。小、中学生や地域住民の関心を高めました。</p> <p>(1) KagawaMarket: 奇数月の第3土曜日 11時～14時開催 開催日:5月15日(土)、7月17日(土)、11月20日(土)、1月15日(土)、3月19日(土) 参加者:70人</p> <p>(2) 小・中学校料理教室、食の学習会 開催日:10月23日(土)、食の学習会(朝食の大切さ)、参加児童:川西中学校健康委員14人 開催日:12月7日(火)、食育(野菜炒め・スクランブルエッグ) 参加児童:嘉川小6年生 27人 開催日:12月14日(火)、16日(木)、食育(ご飯、みそ汁) 参加児童:嘉川小5年生 38人 開催日:2月3日(木)、食育(大豆を使った創作料理) 参加児童:興進小2年生 17人</p> <p>3 嘉川を元気に、まちおこし</p> <p>地域活性化を図るまちおこし事業を関係団体と連携し、まちづくり委員会へ支援しました。</p> <p>(成果、評価)</p> <p>地元の酒「嘉穂の郷」の販売拡大のため、祈願酒の販売に取り組み、PRすることができました。KagawaMarketは定例活動として定着し始め、地域住民に浸透してきました。今後が期待されます。特産品開発(酒粕パウダー)の研究も調理を重ね進んできています。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>地域特産品を活用した特産品開発・普及により地域活性化を図り、魅力ある嘉川をPRしていきたい。「嘉穂の郷」の販売拡大のため、人の出入りが多くある新山口駅周辺でも販売ができるよう検討を進めていきたい。</p>	

事業名	歴史文化の伝承	まちづくり部会
事業費	217,200	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 地域の踊りの伝承、文化祭の総踊り</p> <p>嘉川地域に伝わる「白河踊り」を保存し伝承普及するため、地域行事の体育祭、文化祭で披露する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止及び縮小開催となり、「白河踊り」、「嘉川ふるさと音頭」を披露することができませんでした。</p> <p>2 歴史文化財の周辺整備</p> <p>嘉川の文化遺跡周辺を整備し、老朽化している標柱の取替えを行いました。</p> <p>実施時期:通年、 標柱の取替:21本</p> <p>(成果、評価)</p> <p>嘉川の遺跡・史跡周辺整備、標柱の取替を実施したため、探訪を目的としたウォーキンググループに大変喜ばれました。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>嘉川に伝わる「白河踊り」、「嘉川ふるさと音頭」を保存し伝承普及に引き続き取り組みます。嘉川の文化遺跡周辺の整備を今後も実施し、環境整備を図っていきたい。</p>	